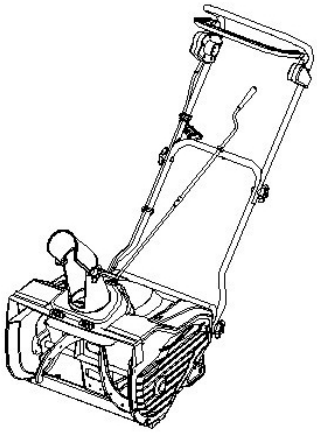
除雪機

取扱説明書

HG-K1650



ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。

おねがい

このたびはハイガー製除雪機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。 なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。

⚠危険　誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。

⚠警告　誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。

⚠注意　誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。

⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

もくじ

おねがい	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
各部の名称	5
機械の組立て	6
運転操作のしかた	10
除雪作業の操作要領	12
メンテナンス	14
長期間使用しないとき	15
主要諸元	16
お客様ご相談窓口	17
品質保証規定	18

⚠ 警告

●作業を始める前に

・すべりにくい靴、防寒服、手袋などの作業に適した服装を心掛けてください。
・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
・視界が良くないときは使用しないでください。

●作業中の注意

・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。
・除雪する場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
・投雪方向に十分注意してください。
・坂道の走行には注意してください。
・雪詰りを取除くときは、必ず雪かき棒を使用してください。
・雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。
・除雪機が雪以外のものを砕いた場合、次の手順に従ってください。
  i) 除雪機を停止させて、スイッチを切ります。
  ii) 電源コードを外します。
  iii) 損傷を目視チェックします。
  iv) あらゆる損傷を修理してから再度作動してください。
・傾斜面を横切って除雪しないでください。傾斜面で方向を変える場合には、十分注意をしてください。
・始動事故を回避するため、電源を入れたままで持ち運ばないでください。
・電源を入れる際、スイッチがオフであることを確認してください。
・電源が入っているとき、コードが損傷したときは、壁のコンセントから延長コードを抜いてください。
・コードを酷使しないでください。 除雪機を運ぶ際や、コンセントを抜く際に、コードを引っ張らないでください。コードは、熱や油や鋭利な物を避けて保管してください。

●保管のときの注意

・除雪機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

各部の名称

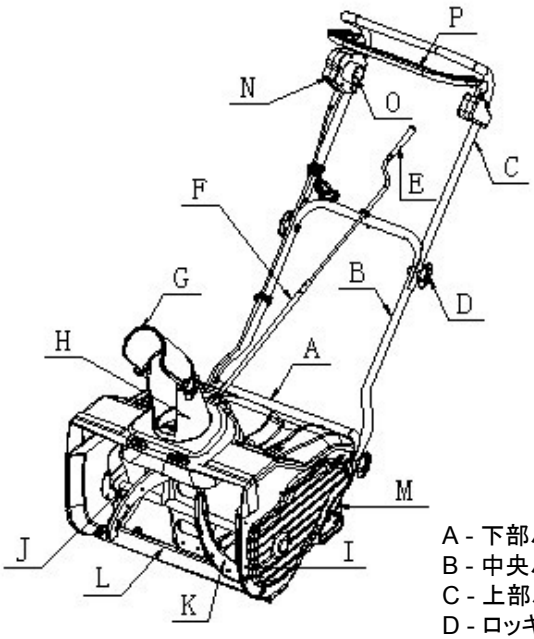


図1

A - 下部ハンドル
B - 中央ハンドル
C - 上部ハンドル
D - ロッキングレバー
E - クランクロッカー
F - ロッカー
G - 投雪口キャップ
H - 投雪口
I - ケーシング
J - 回転刃ラック
K - 回転刃
L - 先端部
M - 車輪
N - スイッチ部分
O - プラグ
P - ハンドグリップスイッチ

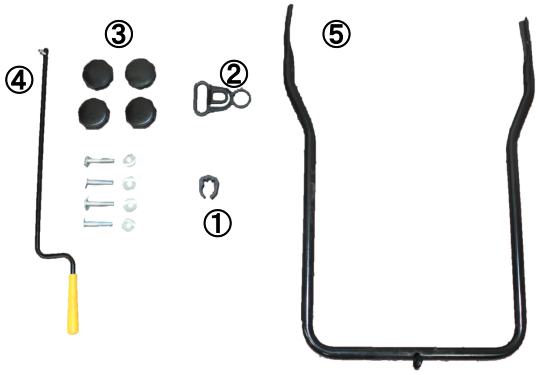
機械の組立て

1.箱から本体、部品を取り出します

ハンドルは電気コードが本体につながっています。 箱から出す際、ハンドルだけを持たずに、本体と一緒に引き上げて下さい。
輸送中に損傷がなかったか、すべての部品を確認してください。 部品が足りなかったり損傷していた場合は、組立てずにハイガー産業へ連絡を入れてください。

2.ご確認

部品名		数量	部品名		数量
①	ケーブルクランプ	1	④	クランクロッカー	1
②	ケーブルフック	1	⑤	中央ハンドル	1
③	ボルト ノブナット	4			



3.投雪口の調整

①図.3-aの、左右のつまみを手で回して緩め、Aを上へ回す (140°くらいまで)
（図. 3-b参照）

②Aが固定されるまでつまみ（図.3-a参照）を締める。

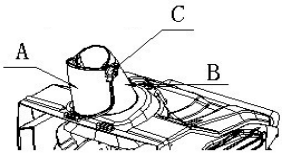


図3－a

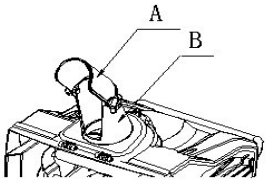


図3－b

4. ハンドルの取り付け

中央ハンドルの取り付け
①中央ハンドルを下部ハンドルに差し込んで、取り付け穴を合わせます。
②ボルトをハンドルの取り付け穴の内側から差し込みます。
③外側からワッシャーをボルトに通し、ノブナットをしっかり締めます。

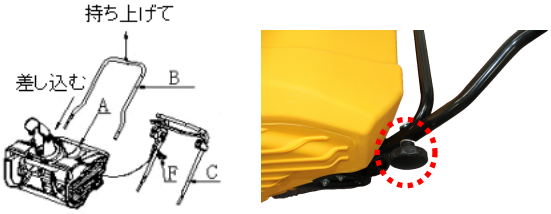


図4

上部ハンドルの取り付け。
①上部ハンドルを中央ハンドルの取り付け穴と合わせます。
②ボルトをハンドルの取り付け穴の内側から差し込みます。
③外側からワッシャーをボルトに通し、ノブナットをしっかり締めます。

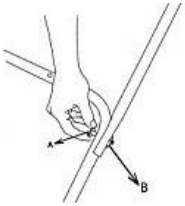


図5-a

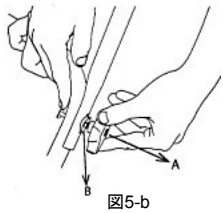


図5-b

5.ケーブルクランプの取り付け

ケーブルクランプを図5を参考にして、
電源コードをはさんで取り付けます。

図5

6. クランクロッカーの取り付け

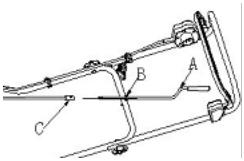


図. 6-a

図 6

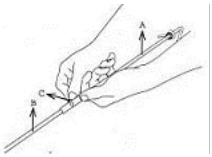


図. 6-b

図. 6-a のAのクランクロッカーを中央ハンドルのBに通し、2つの取り付け穴が合わさるまでCに差し込みます。

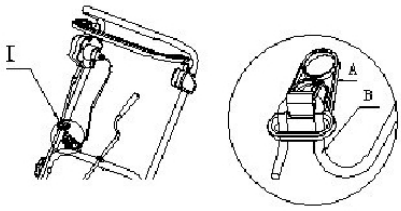
ボルトを通して、ナットを締めます。

⚠ 警告

・電源プラグをコンセントに差し込む前に、回転刃が自由に動く状態であるかチェックしてください。
・この除雪機は、野外や道での除雪用途の目的に合わせて設計されています。
・機械操作においては、安全な使用を必ず心がけてください。
・この機械を除雪以外の目的で使用しないでください。
・この製品を、他の目的に使用したために被った被害については、どんな責任も負いません。
・この製品について正しくない操作を行ったために受けた個人的な負傷、損傷や、他の財産への被害については責任を負いません。

・電気ショックは、深刻な怪我や死亡の原因にも成り得ます。
・機械が動いている際には、どんな部品も水と接触させないようにしてください。
もし機械が湿気を帯びた場合、起動させる前に拭いて乾かしてください。
・野外用電源コードは、20mを超える物は使用しないでください。
・長靴についても、感電防護に注意が必要です。水たまりの中に立ったり、濡れた手で機械等に触らないようにしてください。

・ 外付け電源とコンセントは、安全のために、野外用電源コードを使用してください。
・作業中に電源コードが抜けるのを防ぐために、上部ハンドルの右手側のケーブルフックを使用します。フックに電源コードを引っ掛けて、コンセントまで繋ぎます。



A– 電源コードフック　　B – 電源コードとプラグ

図7

・損傷したワイヤーを使用すると、火事になる危険があります。
・操作する前に、電源コードを注意深くチェックしてください。もし電気系統が損傷していたら、使用せずに即座に修理や交換を行ってください。部品請求はハイガー産業までご連絡ください。

●電源のオンとオフ

電源オン:
スイッチボックスの右側にあるボタンスイッチを押します。(図. 8を参照).

起動:

機械の起動はボタンスイッチを押して、レバーをしっかり握ります。 (図. 9を参照)

この順番でなければ、機械は起動しません。

電源オフ:
レバーを握った手を離します。

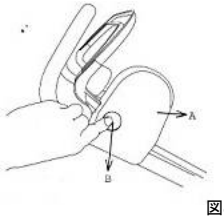


図8

図9

除雪作業の操作要領

⚠ 警告

・砂利、ガラス、ガラス屑、鉄釘、ワイヤー、がれきなどを、除雪機によって拾い上げたり投げたりすることは、深刻な人的被害をもたらす原因となります。除雪機の操作をする前には、このようなすべての異物を作業場所から取り除く必要があります。
・この機械の作業中に、異物によって異常が発生した場合、停止させて電源プラグを抜いてください。異常を取り除きチェックをします。もしどこかの部品が損傷していたなら、機械を再稼動させる前に修理か交換をしてください。
・作業する場所からは子供やペット等は遠ざけてください。
・機械の作動音により、人が近づいてきても気づかないことがあります。
・機械は車輪に支えがない場所では動いてしまうことがあるので、機械の前方部分を上方に傾けておいてください。
・風向きに注意してください。向かい風が投雪をあなたの頭や、雪かきした道へと投げ返す可能性がある場合、風向きと同じ方向へ投雪してください。
・ 電源コード類を強く引っ張らないでください。
・機械を強く押さないでください。
・機械には余分な負荷を加えないでください。モーターに損傷を与える可能性があります。
・極端な気温状況下では、機械の部品が凍ってしまう可能性があります。部分的に凍った機械を、そのまま動かさないでください。もし使用中に機械が部分的に凍ったなら、延長コードを引き抜いて機械を止めてください。
そして 凍った部分のチェックをして、拭き取り作業を行い、確認してから投雪作業を再開してください。
・投雪口を人、動物、自動車、ドアや窓の近くに向けないでください。

除雪作業の操作要領

●投雪口の調整

・(C)の部分を緩めて、投雪口キャップ(A)が丁度良い角度になるようにします。
（図. 11を参照）

・その後、(C)を締めます。

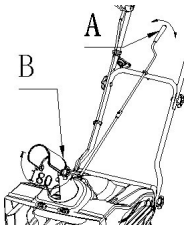


図10

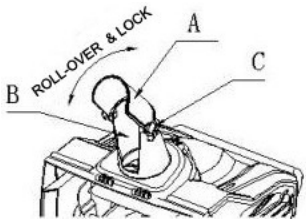


図11

●オートリセット:

この除雪機は、過電流保護機能があり、過電流になると自動停止します。 また、回転むら等の正常ではない動きの時も、モーターは自動的に稼動停止します。
レバーハンドグリップを離すことにより、モーターは再び動き始めますが、異常事態の際には、すぐに動かさずに、延長コードをコンセントから引き抜き、60秒ほどお待ちください。

メンテナンス

⚠ 警告

電源スイッチがオフになっていて、延長コードが抜いてあることを確認してから、メンテナンスを行ってください。メンテナンスや修理を行う際は、回転刃は停止させてください。

・機械の潤滑油は、交換なしでずっと使用可能です。

・機械を使用する前に、回転部分、部品、接続について、また、部品の緩みがないか、安全な動作環境を確保するためにチェックをしてください。

・機械の使用後には作動部分を凍らせないために、数回動かしてからモーターを停止させます。 数回、クランクロッカーを回します。すべての作動部分を停止させてから、投雪口に残った雪を取り除き、雪や氷を拭き取ります。

長期間使用しないとき

・機械の埃を拭き取り、点検します。
・機械の電源プラグから抜いた状態で、延長コードをチェックしてください。もし損傷がある場合には交換をしてください。

・擦り切れたり損傷したりしている箇所がないか確認します。接続部分、ボルト等の締め具合もチェックしてください。

・子供が近づかない、清潔で乾燥した場所で除雪機を保管してください。

主要諸元

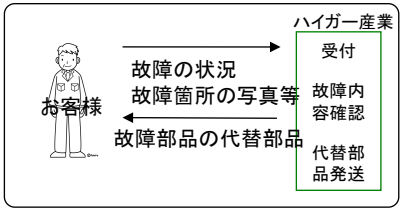
定格電圧	100V-50/60Hz
電源容量	1,600W
モーターアイドルスピード	1,700RPM
除雪幅	50cm
除雪深さ	33cm
オーガー最大回転速度	2,000RPM
オーガー直径	26cm
重量	16kg
本体サイズ	1300×550×850mm
梱包サイズ	520×520×580mm

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

お客さまご相談窓口

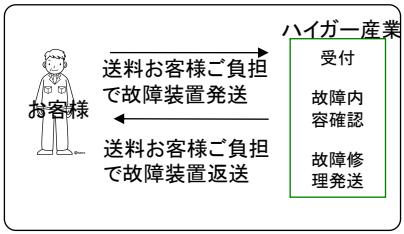
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

① 故障の状況
② 型式
③ 製造番号
④ ご購入年月日
⑤ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先
本社 ハイガー産業株式会社
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3
TEL0276-55-2275 FAX0276-55-2276

品質保証規定

保証期間：1年間（消耗部品を除く）
部品購入可能期間：機種生産中止まで。

保証期間内であれば消耗品を除き部品が壊れても当社で保証をいたします。
保証期間内の修理も無料で承ります。その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。 あらかじめご了承ください。
部品の交換をお客様でされる場合はお電話、又はメールでご連絡の後、破損した部品を当社までお送りください。確認出来次第お客様に部品をお送りさせていただきます。 送料は全てお客様のご負担となります。

以下に該当する故障は保証の対象外といたします。
1）改造や社外パーツを用いての使用
2）誤った使用方法による故障
・凍った雪の除雪や投雪口に雪を詰まらせた状態での使用等
3）定期的なオイル交換をしなかった場合、又はオイルの入れ忘れによる故障
・オイル交換：初回20時間、以降50時間毎に交換
オイル粘度；4サイクルSAE5W-30
4）燃料を入れた状態での長期放置による部品の劣化
・燃料ホース、キャブレターなどが傷むので燃料は抜いて保管してください。
5）管理不足による故障・雨ざらしや塩害による劣化、ボルトの緩み、凍結による
ワイヤーの破損等
6）使用損耗及び消耗
・塗装の剥がれや錆、凹み、異音等
7）外的要因
・自然災害や盗難等
8）使用環境に影響する性能
・投雪口に詰まる雪、雪の水分量により影響を受ける投雪距離等
9）以下の消耗品の破損・紛失
燃料、潤滑油、シャーピン、オーガ（回転刃）、オーガベルト、走行ベルト、
ワイヤー、ライト、配線、モーターブラシ、点火プラグ、ボルト、ナット、ワッシャー、
キャブレター、ゴムパーツ（タイヤ、クローラー含む）、バッテリー、リコイル紐、
エアクリーナー、付属品

※代理店や修理業者で修理された場合の工賃はお客様のご負担となります。
※部品は在庫切れとなった場合、取寄せ後の修理、発送となります。
※予告なく機種生産が終了になった場合には、部品のご提供も終了となります。

HAIGE